



文化庁

地域文化創生本部だより vol.20

新・文化庁にエール

川島織物セルコン

木村社長に聞く

新・文化庁は
令和5年3月27日
京都での業務を
開始します

“京都で輝く 新・文化庁

KAWASHIMA SELKON TEXTILES CO., LTD.

明治期から日本の室内装飾を牽引してきた「インテリア・室内装飾織物」と呉服帯や国立劇場の緞帳・祇園祭の山鉦の祭礼幕などの「美術工芸織物」の2つの事業を手掛けるファブリックメーカー・川島織物セルコン。今回は木村弘一社長に、業界のパイオニアとしてさまざまな角度から織物を支える織物文化の発展に寄与する取り組みや、さらには来春に京都で業務を開始する新・文化庁へ期待することなどを、文化庁 地域文化創生本部の高田行紀事務局長がお伺いしました。



株式会社川島織物セルコン
木村 弘一 代表取締役社長

文化庁 地域文化創生本部
高田 行紀 事務局長

くらしを彩る織物に携わる
想いをお聞かせください

現代の日本では、住宅にカーテンやラグ、カーペットなどのインテリアファブリックが当たり前に使われていますが、日本の建物に本格的に使われ始めたのは明治半ば頃からで、130〜150年の歴史しかありません。当社では二代目の川島甚兵衛が、明治19年に織物の視察に渡欧した際、インテリアファブリックに衝撃を受け、取り扱いのきっかけとなりました。今でも西洋と比べると日本人の関心はまだ高くありませんが、消費者が住空間を洋服のように好みにあわせて素敵に彩ることで心が癒され生活が豊かになる、その魅力を広く発信したいと考えています。

一方、日本の伝統衣装である和装は、残念ながら年々需要が落ち込んでいます。着付けや保管などについての不安をお持ちだからでしょうか。かし和装の素材は海外では人気を誇り、明治期には外貨を稼ぐ方策としてクッションなどに活用、現在では帯をタペストリーやテーブルランナーとして利用される方もいらつしやいます。西陣織の伝統に新たな技術や現代意匠、流行を融合させて新しい美を創造することで、和装のすばらしさを一人でも多くの方に知っていただけるよう、我々も努力が必要と感じています。

織物文化の継承・発展のため、
どのような取り組みをされていますか



織物の業界では、生産工程は分業制が一般的で、素材ごとでも取扱業者が異なります。当社は工場建設時より品質にこだわり、工程の全てを理解しておきたいという信念から、現在の一貫生産体制の基礎を築きました。時間も手間も費用も掛かる一方で、各工程に関する豊富な知識、目利きにつながる判断力、多様性への順応力など多くの「引き出し」を持つことになりました。また伝統的な手染めや手織りの織物と機械で量産する織物の双方を扱う、世界でも珍しい企業です。

これらの特徴を活かし、当社では「川島織物文化館」と「川島テキスタイルスクール」を運営しています。織物やその技術を広く紹介し、学びの場を提供するほか、古くから手掛けてきた伝統技術や、著名物件に納入した織物の製作



にまつわる資料などを所蔵し公開することで、織物文化の継承に少しでも貢献できればと考えています。また、過去のデザインや資料などから学ぶことは、モノづくりに携わる若い技術者に大変良い刺激となり、新しい織物の創造と人材育成にも役立っています。

織物文化の発展に向け、「引き出し」の多い当社だからこそできる、伝統を守り次代につながる取り組みをこれからも続けていきたいと思っています。

来年3月、京都へ移転する
新・文化庁への期待をお願いします

日本文化の発展に大きな役割を果たしてきた京都への文化庁移転は、わが国にとって大変重要なターニングポイントになると感じています。特に世界に向けた文化の発信など、文化庁を中心により大きな力になると期待しています。

一方で、日本文化を支えてきた京都の伝統産業は、このままでは後継者不足などから次々に技術が消えてしまいます。西陣織でも素晴らしい技術者が廃業する話がしばしば



しばしば舞い込んできます。仕事に誇りを持ちつつも、将来を考えると若い人に勧めにくいという声もたびたび耳にします。昔ながらに続けることだけが良いとは思いませんが、必要な伝統技術を存続させるための方策を、文化庁と企業が手を携え、共に考えることができるとありがたいですね。



ようこそ！
わが社の
ミュージアムへ

川島織物文化館

1889(明治22)年創設、国内最古の企業博物館「川島織物参考館」をルーツとするミュージアムです。織物文化の歴史がわかる貴重な染織品や当社が製作した数々の織物の原画・試織など約16万点を収蔵。順次展示公開し織物の魅力を紹介しています。



京都市左京区静海市原町265
(株式会社川島織物セルコン内)

入館料／無料(事前予約制)

休館日／土・日・祝日・当社休業日

開館時間／10:00～16:30

(入館は16:00まで)

<https://www.kawashimaselkon.co.jp/bunkakan/>

